



# 地域支えあいニュース

第6号

発行日 平成29年3月

綾瀬市生活支援体制整備事業プロジェクトチーム

(事務局:綾瀬市社協 地域福祉班) 電話:0467-77-8166 ファックス 0467-79-1812

E-mail info@ayase-shakyo.or.jp

## (仮称)寺尾南地区第2層協議体発足！！

綾瀬市で第1号となる第2層協議体が平成29年3月9日(木)に発足しました。

生活支援体制整備事業は、地域の様々な団体や施設、事業所や個人が情報を持ち寄り、地域における支えあい活動について話し合っていくというもので、今までのように行政や社協が、補助や委託をして事業を行うというもの(事業体)ではなく、自分たちができることを考えていくという話し合いの場(協議体)です。

この日は、堤 朋子さん(自治会区長)が座長となり進行しました。堤さんは「地区社協や自治会のみならず、たくさんの地域の団体や事業所及び個人が地域の問題を考えていかなければならない。その場が必要であるとずっと考えていて、今回の勉強会でまさにそのことを



これから取り組んでいこう。というこの事業の趣旨に共感して最後のアンケートに名前を書いて参加した」と、この事業に参加したきっかけをお話しされました。

その他にも参加したみなさんから「困っているけど、困っていると言えない人が、気軽に“困った”と言える環境が必要である」など、開かれた“新しい話し合いの場”の必要性が意見として出されました。

今後どのようにこの協議体を運営するか・・・。「毎月集まりましょう。まずはどんなことをやっていきたいと思いますか?」「次回までに皆さんが持っている情報をまずは出し合ってみましょう。」「どんなメンバーを加えていきたいと思いますか?」など、次回以降への意気込みを確認しました。

### 生活支援コーディネーターの思い

(仮称)寺尾南第2層協議体が発足して、まずは安堵しています。

この事業を受託したときは、どうやったら地域に新しいサービス推進組織を作っていけばよいのだろうか?ということばかり考えていたことを思い出し、只々反省しています。大きく舵を切り直したのが、生活支援体制整備事業と総合事業は別のものであり、私たちが取り組まなければならないのは「生活支援体制整備事業」であることが明確に分かった時でした。

そこから“さわやか福祉財団”の協力を得て、勉強会を繰り返してきましたが、寄せられる意見も厳しいものもたくさんあり、くじけそうになることも何度もありましたが、今までの考え方を180度転換して、全く新しい取り組みをしていくわけですから相当の覚悟と労力が必要でした。

これからはモデル地区となる3地区の活動を俯瞰しながら、残り11地区へのアプローチを丁寧に行い、綾瀬市に住んでいて良かったと住民の皆さんが思っただけのような仕組み作りのお手伝いをプロジェクトメンバーとともに行っていきたいと思います。皆様どうぞよろしくお願いたします。

### 今後の予定

(仮称)上土棚地区第2層協議体発足式 平成29年3月26日(日)

(仮称)吉岡地区第2層協議体発足式 平成29年4月6日(木) ※各協議体の正式な名称は今後検討します。